

キズナ強化プロジェクト(派遣プログラム) アクションプラン

作成日:2013/4/1

No.	アクションプラン詳細
1	<p>【アクションプランタイトル】 南会津を訪問する</p> <p>【活動内容】 WHY: NZの学生が南会津を訪問したとき現地の方々から親切な対応をしてくれたおかげで、今回のプログラムに参加した私たちにしても親切にしてくれた。私たちは南会津にはまだ訪れたことがなく、現地の状況を理解し、人との絆を大切にしていきたいので、アクションプランとして計画することとした。 WHEN: 帰国後から3ヶ月以内 WHO: 岩手チーム15人 TO WHOM: NZの学生がかかわった南会津の方々【例①南会津農林事務所 ②富岡町生活復興支援センター ③会津酒造歴史観 など】 WHAT: 今回の派遣プログラムで行った活動、および現地の学生の経験談と事後報告 HOW: NZの学生との活動写真を提示しながら報告する。また、活動記録を役所等に掲示させていただき、多くの方に活動を知ってもらおう</p>
2	<p>【アクションプランタイトル】 新聞社に投書</p> <p>【活動内容】 WHY: 日本人たちはニュージーランドについて深く知らない。また、日本とニュージーランドの関係性についてもよく理解できていないと言いき難い。日本とニュージーランドについて我々が発信することによって、ニュージーランドのこことについて知ってもらい、復興のヒントを得てもらい、震災が海外でどのようにいけとめられているか理解してもらおう WHEN: 南会津を訪問してから一か月以内 WHO: グループ15人で TO WHOM: 東北の方々に対して WHAT: 私たちのニュージーランドでの活動、ニュージーランドの学生の活動、南会津での活動を通して学んだこと、感じたこと HOW: あらためて文書化し、まとめて新聞記事にする。それを新聞社の読者欄に投書する。</p>
3	<p>【アクションプランタイトル】 新聞を作成し、ニュージーランドに発信</p> <p>【活動内容】 WHY: ニュージーランドと日本の人びとはお互いについてよく知らない。特に、両国の被災地の現状もお互いに知らないところが多い。そのため、お互いに新聞を発行を通して現状を発信し、双方を知るきっかけになってほしい。 WHEN: 7月までに一回目を作成する。 WHO: グループ15人で。 TO WHOM: ニュージーランドの大学生、市役所の方、日本に関係のある方等を通して一般市民にも。 WHAT: 日本の復興の現状 HOW: 数枚のニュースペーパーにまとめる。できるだけ写真を入れて、視覚に訴えられるような構成にする。</p>
4	<p>【アクションプランタイトル】 祈りの灯火2014への灯籠寄付</p> <p>【活動内容】 WHY ニュージーランドと日本の絆を東日本大震災追悼イベントで伝えるため WHEN 2014年3月11日(震災から3年目)に開かれるイベント WHO 岩手グループメンバー5名 TO WHOM 祈りの灯火実行委員会 盛岡復興支援ネットワーク WHAT 毎年開催される震災追悼イベントで、今回共同制作で作った灯籠を使用する。 HOW 犠牲になられた方々を追悼し、復興に向けた願いを込めて約二万この灯籠に火を灯し、心一つにお祈りする。</p>
5	<p>【アクションプランタイトル】 アプリケーションを使った防災情報の発信</p> <p>【活動内容】 ニュージーランドのオークランド市は、アプリケーションを使った防災情報の発信を行っていた。そこで、現在山梨県立大学でつかっている観光情報を発信するアプリケーションを利用して、防災情報をいれることができると考えた。アプリケーションならば、紙媒体より更新費用がかからず、多言語化の編集が容易である。メンバーは山梨県立大学内で呼びかけ、構成予定。試験として山梨県内での普及を試みる。期間は今年度の四月から作成を始め、普及など合わせて一年間つづけていきたい。</p>
6	<p>【アクションプランタイトル】 キッズルームおひさまの訪問</p> <p>【活動内容】 WHY: キッズルームおひさまを支援してくれたオークランド大学の学生の声や思いを交流してきた私たちが直接伝えるため、オークランドの学生から預かってきたもの、一緒に作ったカルタを届けるため。キッズルームおひさまに通う子供たちが少しでもニュージーランドについて興味をもってくれたら本望。 WHEN: 初回は4月5日に行い、これからも数回に分けて訪問する WHO: ニュージーランド派遣団の絆メンバーの内、都合が合う者(宮城メンバーを中心に) TO WHOM: キッズルームおひさまの子どもたち、職員の方々 WHAT: オークランドの学生のメッセージビデオを見てもらう。職員の方にオークランドの経験を伝える。オークランドの学生と一緒に作ったカルタを届ける。大きな模造紙に写真を張ったものを作成し、それを届ける。子どもたちと触れ合う。 HOW: 車を使って移動して、パソコン・パネルを利用して発表する</p>
7	<p>【アクションプランタイトル】 facebookのホームページで今回関わりあった人と継続的な交流する！</p> <p>【活動内容】 WHY: キッズルームおひさまの訪問や岩手チームの活動、東北の復興状況、オークランドの今を載せてもらい、情報を共有するため。被災地の情報を知りたい時に知れる環境を整えることで震災の風化防止にもつながり、オークランドの近況を報告して日本人がそれを見ることで、ニュージーランドへの理解が深まり、継続的な相互の学び合いが実現する。 WHEN: 四月中に完成、随時更新 TO WHOM: ニュージーランド派遣団、オークランドの学生や教授など今回の活動で関わった人すべて WHAT: facebookのページを作って、活動や各地の近況を載せる HOW: 代表者がパソコンで作成</p>